

あさのあつこさんからのメッセージ

本の中には、未知の世界がたくさん！

みなさん、こんにちは。あさのです。

わたしは小学生のころ、ほとんど本を読まない子どもでした。本を読む代わりに、川で泳いだり(わたしの子どもころって、学校にプールが無くて、そのかわり川で泳げたんです。びっくりでしょ)、山で遊んだり、田畑を荒らしたり(泥棒していたわけではありません。収穫が終わった後の田畑で走り回っていただけです。でも、これって土が硬くなるので農家のおじさん、おばさんにこっぴどく叱られたりしました)、毎日、遊びまくってました。だから、みなさんに、「本を読みなさい」って強制することなんかできません。そもそも本を読むこと、読書って他人から強いられたり、命じられたりしてしぶしぶ行うものじゃないですからね。それに、読書より楽しいことっていっぱいあります。本当の意味で楽しい人生を知っている人が本当の意味での幸せ者だとわたしは信じているのです。だけど、読書のおもしろさ、楽しさを知らないで大人になるのも、もったいないなあとも思うのです。読書だけが与えてくれる快樂、愉快、感動、興奮……うん、知らないままなんてもったいないよ。大損だよ。本の中にはいろんな人間がいます。紳士、淑女ばかりじゃありません。娼婦、詐欺師、盗人、嫉妬深い女、陰険な男、殺意を秘めた女、墮落した男……ね、おもしろいでしょう。世の中には未知の世界があり、未知の人々がたくさんいるのです。本はそれをあなたに伝えてくれます。心の片隅で覚えておいてくださいね。

あさの あつこ

Profile 《プロフィール》

岡山生まれ。小学校に臨時教諭として勤めたのち、作家デビュー。1997年、『バッテリー』で野間児童文芸賞受賞、1999年、『バッテリーⅡ』で日本児童文学者協会賞受賞、2005年、『バッテリー』全6巻で小学館児童出版文化賞受賞。『バッテリー』(教育画劇)の他に、『ありふれた風景画』(文藝春秋)、『ガールズ・ブルー』(ポプラ社)など作品多数。

100冊に選ばれた本

➡「The MANZAI」シリーズ(13ページ) ➡「バッテリー」シリーズ(14ページ) ➡『ありふれた風景画』(15ページ)